

軽音楽同好会特集！

茨戸川

発行
石狩翔陽高校
新聞局
2025年7月24日
第6号

軽音部への道のり

今年4月に、本校に軽音楽同好会が設立された。現在では部員30人を超えて活動をしている。軽音楽同好会史上最大のステージであった「翔陽祭」では閉祭式で最後にふさわしい盛り上がりを見せた。他にも、地域のイベントへの出演など様々な場所を通して観客に演奏を届けている。そこで、本紙は翔陽祭を終えた軽音楽同好会を訪ねて、部長と副部長にインタビューを行った。



質問内容

- ① 軽音楽同好会発足のきっかけ
- ② 担当楽器③ 人前での演奏の感想④ どこかで演奏したときの感想⑤ 軽音の魅力⑥ 好きなアーティスト⑦ 軽音楽同好会の目標⑧ 今後のスケジュール⑨ 読者へ一言

渡邊一輝さん (部長)

① 個人的な話なんですけど、もともと吹奏楽部でドラムをやってました。ドラムをやっていた中で、バンドがやりたくなったので、作りました。

- ② ドラムをやっています。
- ③ (人前で演奏したことが)あまりなくて。今年の翔陽祭が初めてでした。緊張していたのですが、それよりも楽しかったです。
- ④ いくらロックフェスというのがありそれに出たときに、演奏側も聞く側も一体感があり、来てくれた人も来てよかったと言ってもらえたのが嬉しかったです。
- ⑤ 自分たちがやりたい曲をやったりできるので、比較的自由な感じですよ。
- ⑥ Wurstsです。
- ⑦ 地域での発表の機会を大切にしながら、「軽音楽部」への昇格を目指して頑張ります。
- ⑧ 地域でのお祭りや、9月に新人戦大会があります。また、ミニ文化祭でも披露します。



新聞局員大募集

石狩翔陽高校新聞局は、現在1年生3人で活動をしている。そこで今回は、部活動紹介を兼ねて局員に話を聞いた。

新聞局の魅力は？

桜井…局員みんな委員長や議長をやっています。が、わいわい楽しくやっています。

関…他校の新聞局との関わりが多く、各高校の事情がよく入ってきます。また、本校は北海道高文連石狩支部新聞専門部書記校になりました。なので、支部総会の様子を新聞に載せたりする仕事も

- ⑨ 今からの入部も歓迎します。一緒に楽しむのも歓迎しています。入らない人も応援してくれたら嬉しいです。よろしくお願いします。
- ① 泉虎次朗さん (副部長) 音楽が好きで、ギターがかっこいいと思っています。他にも楽器をやりたい人が周りにいたから作りました。
- ② ギターをやっています。
- ③ 緊張はしますが、弾けば楽しさが勝ちます。
- ④ 他じゃできないことをできるところです。
- ⑥ セカイノオワリ、リンキン・パーク

皆さんは、学校帰りに謎の鳥を見たことがあるだろうか。写真の鳥である。「キジ」だ。どこからか、ふらりと現れ取り付け道路を立ちふさぎ、去っていく。こんな鳥について気にならないだろうか？どこからやってきて、どこへ消えていくのか？キジとはそもそも何者か？

そこで、新聞局では継続的にこの「キジ」を「記事」にしていこう。



キジを追う

あります。秋山…時間の融通は非常に利きます。新聞を作るときは集まるけど、それ以外は基本的に帰宅部と同じです。割と自由です。

新聞局はこの2年間、局員がいまいませんでしたが、今年は三人も入りました。みんな一年生なので、特に一年生の皆さんは、ぜひ、新聞局に入ってください！他の部活との掛け持ち歓迎！自分のやりたいができます！入部を考えてる人は、中谷先生または仲尾先生まで！